17	事彩	务事	業名	合志	音頭制	作普及事業				マニフェスト 全庁横断 集中改革 関連 課題関連 プラン関連					
総合		政					あふれるま			所属		長興部	課長名	古荘	
計画体系		施	策	22 77			<u>:を活かした</u> :に触れる機		醸成	所属		_{振興課} ・企業誘致班	担当者名	松井	
IT		算科	7 //-	<u>分</u> 会計 一般		項 目 1 2	事業連番 11524	法令 根拠		DI A	馬班 ┃同土	上来訪玖班	成果優先度コスト削減優先	評価結	片果 ⑥
終	了、	開始	台年度	110-1			☑ 22年度かり	う開始	事業期間	』□単4	年度のみ	□単年度繰り 定複数年度		~	年度) 23 年度)
	中. 云	ケー	米の押		日什么	4かめり士	工順 学	¢m U ⊓∃E	178>->-	米左中			(22		20 平反)
			为容】	合志	市民の	一体感を高め		5音頭を制	作し、r	5外へも	広く合志市の)PRを行うた	とめ歌詞の公募 けし、普及活動		
きっ	か		背景・ 今後の 含む)												
	業務	务の初	流れ 】				発足し、募集 者と契約、 l]後、委員会に	おいて	審査し、最優
【主	な	予算	費目】	• 委	員会報	酬・費用弁償	・報償費・消	耗品費・	印刷製料	本費・委	託料・役務費	Ē			
関事係意見	者対等や	(住 象者)から	、利害関うどのなが寄せ										F及させ夏祭り ⁹ たわせが数多く ⁹		
1						PLAN)									
① 合元)、	手段 市歌	と (主 で詞の	制作委員	22年 会要 員会	度実績 綱の制 の開催	定、委員会(産(審査、作	ティスティア ティスティア ア開催(歌詞 田家、歌手、	募集要項の	 D協議等 歌詞の	23年月		度に計画して	<u>j</u> いる主な活動 踊り の振 り付け		v)
1	活	動指	標(事務	事業	の活動	量を表す指	漂)		(単位) 予算の	の主な増減の	 ·理由			
\Rightarrow	アィ	制作	委員会	の開作	崔回数				。	音頭0	の普及及び振	付に係る経費の	のみ計上したた	:め。	
②対		き(誰	、何を対	対象に	こしてい	いるのか)*	:人や自然資	源等			象指標(対象 人口	の大きさを表	す指標)		(単位) · 人
			の事業に の事業に の一体感で			対象をどう変	〔えるのか)					の達成度を表 各地区等で音	す指標) f頭を使用した	:件数	(単位) 件
	 指					年度目標値 小小中学校行		での使用[回数を設	定。目標	票値について	は、各地区で行	行われる夏祭り	の回数	女をベースに
(2)	各扌	旨標	·総事業	費		20年度	21年度	22年度	: 22	2年度	23年度	24年度	25年度		
				ア	単位回	実績(決算)	実績(決算)	目標(当初子	·算) 実績 5	(決算)	目標(当初予算)	予定 0	見込 0		
	1	活動	助指標	イ				EE (55. 828					
	2	対象	象指標	アイ	^	0	0	55, 2		'	55, 751	0	0	総ト	ヘータルコスト
	3		果指標	アイ	件	0	0		0	0	20	0	0		全体計画 ~23年度
	事	財者	国庫支出 『道府県』 地方側	出金	千円 千円									(期	
投		内	その個線入会	<u>h</u>	千円									期間限定複数年度	
			一般財	 源	千円	0	0		0	2, 382	2, 144 2, 144	0	0	複数	/
入	飣		x) 事業 i)のうち指		千円	0	0		0	160	-	0	0	年度	/
量			のうち時間			0	0		0	0	, -	0	0	のみ	
,	人性		職員従事 ベ業務時		人 時間	0	0		0	3 380	1 300	0 0	0	記載	/
-	費		3)人件費		千円	0	0		0	1, 565	1, 236	0	0	·:	/
	<u> </u>	タル	コスト(A)	+ (B)	千円	0	0		0	3, 947	3, 380	0	0		2, 479

事務事業名	合志音頭制作普及事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE)

②24年度目標達成度評価		*原則は22年度の事後評価、ただり	し複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価
日標達成成度計価		①22年度目標達成度評価	□達成した □達成しなかった ⇒【原因 5
議事業の当年度実践は当年度目標を達成 はないか			新規事業であるため、前年度の目標はないがスケジュールどおり進んでいる。
議事業の当年度末報は当年度目標を達成 対したか、未成の場合をの原因は? ②23年度目標達成見込み ②23年度目標達成見込み ②23年度目標達成見込み ③ 内臓果の向上余地 ※香藤業の次年度目標値に対して次年度の見 込みはついているのか? ②次果の向上余地 ※本権実践係にこの事務事業の規果を向上させ 会型はあるか?成果が関すらになってないか ④ 類似事業との必解合・連携の可能性 「日本の主なは、この事務事業以外也に対して次年度の表 ので表し、連携ができる ⇒ 【理由】 □ 世他に手段がない ⇒ 【理由 □ 対象を含するは、この事務事業以外也に対象がある → 【理由 □ 対象を含するは、この事務事業以外也に対象がある。 ② 近東の向上が消費できるか? ② 下来では、この事務事業以外也に対象がある → 【理由 □ 対象を含するは、この事務事業以外也に対象がある。 ② 下来では、この事務事業以外也に対象がある → 【理由 □ 対象を含するは、この事務事業以外也に対象がある。 ② 国際 事業をの機解合・連携の可能性 「日本の主なけるには、この事務事業以外也に対象がある → 【理由 □ 対象を含する。 ② 事業の自上が消費できるか? ② 「事業費の間減余地 ② 「一般成余地がある → 【理由 □ 「一般成余地がない → 【理由 □ 「一般なっといか。」 「理由】 □ 「一般なったがない → 【理由 □ 事業費は歌詞の公募、作曲及び振り付けに要する最低限の経費であり、振り付けの普及 事業費は歌詞の公募、作曲及び振り付けに要する最低限の経費であり、振り付けの普及 事業費は歌詞の公募、作曲及び振り付けに要する最低限の経費であり、振り付けの普及 事業費は歌詞の公募、作曲及び振り付けに要する最低限の経費であり、振り付けの普及 事業費は歌詞の公募、作曲を行ることはのの創設を表述らないからまる → 【理由 □ 「一般なった」 「一般なった」 「一般なった」 「一般なった」 「一般なった」 「一般なった」 「一般なった」 「一般なった」 「一般なった」 「一般は、からない 「一般なった」 「	日		
②②3年度目標達成見込み □目標達成見込みあり⇒ [理由] □ □向上余地がない ⇒ [理由 □ □ □向上余地がない ⇒ [理由 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	標		
世日保護成児がある。 「理由」 「田田・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・東京・		したか、未達成の場合その原因は?	
### 当初のスケジュールどおり進んでいるため達成の見込みあり。 当初のスケジュールどおり進んでいるため達成の見込みあり。 当前のスケジュールどおり進んでいるため達成の見込みあり。 当前した会地がある 三四山 「一向上会地がない 三四山 「大ずは、平成22年度中に普頭の作曲まで終えることであり、平成23年度はその普及に努める。 「一般限しまるか?成果が現すらになってないか」 「金融収益をあって成果が現すらになってないか」 「金融収益をおって成果が現すらになってないか」 「金融収益をおって成果を関係してきる。」 「一回を連成するには、この事務事業以外に対策的事業との維度ができる。」 「連由] 「一回制度会地がある」 「一回制度会地がない 「一回制度会地がない」 「一回制度会地がない」 「一回制度会地がない」 「一回制度会地がない」 「四申」 「一回制度会地がない」 「四申」 「一回制度会地がない」 「四申」 「一国制度会地がない」 「四申」 「一国制度会地がない」 「四申」 「一国制度会地がない」 「四申」 「一国制度会地がない」 「四申」 「一回制度会地がない」 「四申」 「一回利度会地がない」 「四申」 「一回利度会地がない」 「一申」 「一回利度会地がない」 「一申」 「一申】 「一	成 産	②23年度目標達成見込み	☑目標達成見込みあり⇒【理由】5』 □目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】5』
			当初のスケジュールどおり進んでいるため達成の見込みあり。
③成果の向上余地 ※年度以降にこの事務事業の成果を向上させた。 参加はあるか?成果が頭打ちになってないか (類類似事業との統廃合・連携の可能性 一面の企業などの統廃合・連携の可能性 一面の企業などの統廃合・連携の可能性 一面の企業などの統廃合・連携の可能性 一面の企業などの統廃合・連携ができる 「理由】「一面を設定するには、この事務事業以外他に対策の事故をさないが、普及活動については、軽スポーツの普及や生涯が高る。 「理由】「一面、	価		
②成果の向上余地 ②成果の向上余地 ②向上余地がある ⇒ [理由] □ □向上余地がない ⇒ [理由 □		事務事業の次年度目標値に対して次年度の見	
**大年度以降にこの事務事業の成果を向上させる **☆地はあるか?成果が頭打ちになってないか ** ②類似事業との統廃合・連携の可能性 「自的を連続するには、この事務事業以外値に 方法はないか?第四事業との総廃合ができる か?第10事業との総廃合ができる。 「受制の事業との必能を必ずできるか。」 「国制減余地がきる」 「理由」「「「「無理由」」「「「無理」」」「「「無理」」」「「「関制ないか?類別事業との機関会ができるか。」 「「「事業費の削減余地 「「「「「「「「「」」」」「「「」」」」「「「」」」」「「」」」」「「」」」」「「」」」」		込みはついているのか?	
株年度以降にこの事務事業の成果を向上させる		③成果の向上余地	☑向上余地がある ⇒【理由】5』 □向上余地がない ⇒【理由 5』
株年度以降にこの事務事業の成果を向上させる			先ずは、平成22年度中に音頭の作曲まで終えることであり、平成23年度はその普及に努
金類似事業との総廃合・連携の可能性		次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる	
能性 静水		余地はあるか?成果が頭打ちになってないか	
性 評価	有効	0771217711 100011 10001	
評価		能性	
日前を達成するには、この事務事業以外他に 方法はないか?類似事業との離廃合ができる か?類似事業との離廃合ができる か?類似事業との離廃合ができる か? ③ 事業費の削減余地 □削減余地がある 事業費は歌詞の公募、作曲及び振り付けに要する最低限の経費であり、振り付けの普及 活動は地区役員や各種団体等にお願いする予定である。 ② 人件費(延べ業務時間)の削減 金 会社 ※ というのであり、それ以上コスト増には繋がらない をいうを工夫して延べ業務時間を削減できないか。 で、ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	評		v.
おきはないか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? ③ 事業費の削減余地 ④削減余地がある ⇒ 【理由】 □ 削減余地がない ⇒ 業費は歌詞の公募、作曲及び振り付けに要する最低限の経費であり、振り付けの普及活動は地区役員や各種団体等にお願いする予定である。 ※ 性性 評	仙		
 			字首の場を活用することは可能である。
成果の向上が期待できるか? ⑤事業費の削減余地 ②削減余地がある ⇒【理由】 □削減余地がない ⇒【理由 □ 事業費は歌詞の公募、作曲及び振り付けに要する最低限の経費であり、振り付けの普及活動は地区役員や各種団体等にお願いする予定である。 ⑥人件費 (延べ業務時間)の削減 □削減余地がある ⇒【理由】 □ □削減余地がない ⇒【理由 □ 音頭の作曲業務は今年度中に終了予定であり、それ以上コスト増には繋がらないを表を下げずに正職員以外の職員や季託できないか? (アウソーシングをど) □見直し余地がある ⇒【理由】 □ □公平・公正である ⇒【理由 □ 中地 地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になったか? (アウソーシンがと) □見直し余地がある ⇒【理由】 □ □公平・公正である ⇒【理由 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			
事業費は歌詞の公募、作曲及び振り付けに要する最低限の経費であり、振り付けの普及 法動は地区役員や各種団体等にお願いする予定である。 「会社」を表して近べ業務時間)の削減 会社がある ⇒ 【理由】 「日前減余地がない ⇒ 【理由」 「日前減余地がある」 「理由」 「日前減余地がない」 「理由」 「日前減余地がない」 「理由」 「日前減余地がない」 「日前減余地がある」 「理由」 「日前減余地がない」 「日前減余地がある」 「理由」 「日前減余地がない」 「日前減余地がある」 「理由」 「日前減余地がらないない。 「では、以外の職員や委託できないから、「でウトソーシングなど」 「日前し余地がある」 「理由」 「日本地がある」 「日本地がないかないかないかないかないかないかないかないかないかないかないかないかないかな		成果の向上が期待できるか?	
法事業事務のやり方や手段においてこれまでのないか? (本) 法事業事務のやり方や手段においてこれまでのなった。 法が与えたによってもないか? 金融・まだも、できないたこれまでのものであり、そのであり、そのであり、とびといった。 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日		⑤事業費の削減余地	☑削減余地がある ⇒【理由】5 □削減余地がない ⇒【理由 5 □
法事業事務のやり方や手段においてこれまでのないか? (本) 法事業事務のやり方や手段においてこれまでのなった。 法が与えたによってもないか? 金融・まだも、できないたこれまでのものであり、そのであり、そのであり、とびといった。 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日			事業費は歌詞の公募、作曲及び振り付けに要する最低限の経費であり、振り付けの普及
世世 「一	杰	成里を下げずに事業費を削減できかいか? (4	活動は地区役員や各種団体等にお願いする予定である。
##	率		*
##	性	⑥人件費(延べ業務時間)の削減	□削減余地がある ⇒【理由】50 □削減余地がない ⇒【理由 50
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないかっ。 成果を下げずに正職員以外の職員や季託でできない。 つ 受 益機会・費用負担の適正化会 地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平 ではないか?受益者負担が公平・公正になっていてかっ。 一 ② ② ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? ② ② 行政の役割分担の適正化 ② ② 行政の役割分担の適正化 ② ② 行政の役割分担の適正化 ② ② で まず高のやり方や手段においてこれまでの を表すまなる。なるな常知なた日の地域、関係	評価	T	v
公 ⑦受益機会・費用負担の適正化余 地 □見直し余地がある ⇒ 【理由】 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	Ilmi	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか	2
中性 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になってではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? ② (多行政の役割分担の適正化 □ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 □ □ ②役割分担は適正である ⇒ 【理由】 □ ○ 合志音頭は市のシンボルであり、行政が制作することは役割分担として適正である。		成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできな か? (アウトソーシングなど)	
中性 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になってではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? ② (多行政の役割分担の適正化 □ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 □ □ ②役割分担は適正である ⇒ 【理由】 □ ○ 合志音頭は市のシンボルであり、行政が制作することは役割分担として適正である。		の必光燃会・豊田名田の海エル会	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
性 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 役 ⑧行政の役割分担の適正化 □ 見直し余地がある → 【理由】 □ ②役割分担は適正である → 【理由】 □ 合志音頭は市のシンボルであり、行政が制作することは役割分担として適正である。	公亚		
世 いるか? 役 8行政の役割分担の適正化 つ	性		何木にわたりで印氏に自及し、秘承していくものであり、公子・公正である。
図	評		
割 分 事業事務のやり方や手段においてこれまでの 担 海ボ まがなってきる (第75 代目の地域 PR			
分		⑧行政の役割分担の適止化	v
世 行政 主が行ってきた然果たけ足の地球 PA	分	事業事務のやり方や手段においてこれまでの	合志首與は中のソンホルであり、行政か制作することは役割分担として適止である。
計 に移行できないか?	担評価		
価 [139] (139)	価	10-13/11 CG 18 1. 10. 1	

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

当初のスケジュールどおり進んでおり、反省点はなし。

4	今後の七白州	(事務事業担当課案)	(DIANI)
4	今後(/) 月间性	(事務事業担当課案)	(PLAN)

(1)	合從	\mathcal{O}	車	丵	T	1#1	台	炪	: (i	W	古書	・	•		複数强却	记可

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択リ □廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善)

☑現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(廃止・休止の場合は記入不要)										
```		コスト								
	1111	削減	維持	増加						
7	向上									
成 果	維持									
//	低下									

(2) 改革・改善による期待成果

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁) とその解決策

期間限定の事業の為、改善の必要なし。